



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231
 企業不動産企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,613	—	699	—	726	—	424	—
24年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 391百万円(—%) 24年3月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	37.40	—
24年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、平成24年3月期第3四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	25,596	9,678	36.7
24年3月期	25,232	9,487	36.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,403百万円 24年3月期 9,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	—	1,350	—	1,350	—	777	—	68.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	12,400,000株	24年3月期	12,400,000株
25年3月期3Q	1,053,586株	24年3月期	1,000,770株
25年3月期3Q	11,346,415株	24年3月期3Q	11,191,584株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
4. 参考情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界経済の減速などから国内景気が弱い動きのなかで、海外の経済環境の不確実性が依然として高いなど、国内景気を下押しするリスクが存在する状況が続きました。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るように努めました結果、売上高は、216億13百万円となりました。

営業利益は、厳しい競合や仕入コスト等の上昇などの影響から6億99百万円となりました。

経常利益は、営業外収支で26百万円収益が上回ったため7億26百万円となりました。

四半期純利益は、4億24百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

資源・金属素材関連では、世界的な景気減速から国内製造業などが影響を受けたため、関連部門の売上高は85億99百万円となり、営業利益は2億48百万円となりました。

産機・建機関連では、世界的な景気減速を反映し、国内設備投資が不透明な状況から、民間企業向け各種ポンプ類の販売は低調に推移したため、関連部門の売上高は47億82百万円となり、営業利益は6億85百万円となりました。

環境設備関連では、水砕スラグ設備の大口売上と環境商品が好調に推移したため、関連部門の売上高は10億16百万円となり、営業利益は2億12百万円となりました。

化成品関連では、合成樹脂全般では景気減速の影響を受けましたが、化成品は自動車関連が引続き堅調に推移したため、関連部門の売上高は71億10百万円となり、営業利益は61百万円となりました。

不動産賃貸関連では、グループとして情報等を共有化し、空室状況の改善を図るなど、効率化を進めた結果、関連部門の売上高は1億5百万円となり、営業利益は41百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は255億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億64百万円増加しました。

(資産)

流動資産は169億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億94百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金で9億51百万円、現金及び預金で1億63百万円の減少等がありましたが、商品及び製品で12億51百万円の増加等によるものです。

固定資産は86億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億69百万円増加しました。

これは主に、投資有価証券で1億33百万円の減少等がありましたが、土地の取得による3億30百万円の増加等によるものです。

(負債)

流動負債は116億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加しました。

これは主に、支払手形及び買掛金で10億22百万円、未払法人税等で3億37百万円、その他（預り金等）で2億24百万円の減少等がありましたが、短期借入金で18億63百万円の増加等によるものです。

固定負債は42億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加しました。

これは主に、その他（長期預り金等）の増加等によるものです。

(純資産)

純資産は96億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億91百万円増加しました。

これは主に、利益剰余金で2億24百万円の増加等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き復興需要の下支えが見込まれますが、海外経済環境を巡る不確実性は依然高く、国内景気を下押しするリスクが存在するなかで、当社の資源・金属素材関連で扱う各種商品は国際的市況の変動により業績に影響を及ぼす可能性があります。また、産機・建機関連及び化成品関連で取扱う商品は、国内製造業を主体としたものであり、国内外の経済動向、設備投資動向の変化により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社及び連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,051	1,887
受取手形及び売掛金	9,815	8,864
商品及び製品	4,428	5,680
仕掛品	15	79
原材料及び貯蔵品	19	25
繰延税金資産	277	285
その他	132	97
貸倒引当金	△18	△4
流動資産合計	16,722	16,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,215	3,245
減価償却累計額	△1,630	△1,692
建物及び構築物（純額）	1,584	1,552
機械装置及び運搬具	410	415
減価償却累計額	△337	△353
機械装置及び運搬具（純額）	72	61
土地	4,399	4,730
その他	1,813	1,712
減価償却累計額	△1,755	△1,671
その他（純額）	57	40
有形固定資産合計	6,114	6,386
無形固定資産		
のれん	128	109
その他	129	116
無形固定資産合計	257	225
投資その他の資産		
投資有価証券	1,437	1,304
繰延税金資産	152	163
その他	569	621
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	2,137	2,067
固定資産合計	8,509	8,679
資産合計	25,232	25,596

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,111	6,089
短期借入金	2,061	3,925
1年内償還予定の社債	680	780
1年内返済予定の長期借入金	311	262
未払法人税等	563	226
賞与引当金	275	106
その他	518	294
流動負債合計	11,522	11,684
固定負債		
社債	2,274	2,334
長期借入金	915	844
繰延税金負債	435	433
退職給付引当金	505	448
その他	91	173
固定負債合計	4,221	4,233
負債合計	15,744	15,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,623	1,623
利益剰余金	6,018	6,242
自己株式	△306	△306
株主資本合計	9,188	9,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	△0
繰延ヘッジ損益	4	△9
その他の包括利益累計額合計	32	△9
少数株主持分	266	275
純資産合計	9,487	9,678
負債純資産合計	25,232	25,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	21,613
売上原価	18,533
売上総利益	3,080
販売費及び一般管理費	2,380
営業利益	699
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	17
受取家賃	28
持分法による投資利益	23
その他	33
営業外収益合計	106
営業外費用	
支払利息	35
社債利息	25
保険解約損	5
その他	13
営業外費用合計	80
経常利益	726
特別利益	
固定資産売却益	14
その他	0
特別利益合計	14
特別損失	
投資有価証券評価損	7
貸倒引当金繰入額	2
その他	3
特別損失合計	13
税金等調整前四半期純利益	728
法人税等	294
少数株主損益調整前四半期純利益	434
少数株主利益	9
四半期純利益	424

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益		434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△25
繰延ヘッジ損益		△14
持分法適用会社に対する持分相当額		△2
その他の包括利益合計		△42
四半期包括利益		391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		382
少数株主に係る四半期包括利益		8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連	合計		
売上高 外部顧客への 売上高	8,599	4,782	1,016	7,110	105	21,613	0	21,613
計	8,599	4,782	1,016	7,110	105	21,613	0	21,613
セグメント 利益	248	685	212	61	41	1,248	0	1,248

(注) 1. その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 平成24年1月に上記既存3事業の更なる拡大、深化および新たな収益基盤の確立を図るべく、主たる事業として「合成樹脂・油脂・化学品関連事業」を有するイズミ株式会社の株式を取得し、連結子会社としましたので、「化成品関連事業」を追加いたしました。また、イズミ株式会社は不動産賃貸収入を有しており、加えて平成23年10月に竣工した当社本社ビルの一部を賃貸していることから、「不動産賃貸関連事業」を追加いたしました。したがって、平成24年4月以降の新報告セグメントは、「資源・金属素材関連」、「産機・建機関連」、「環境設備関連」、「化成品関連」および「不動産賃貸関連」としております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,248
その他の区分の利益	0
全社費用(注)	△548
四半期連結損益計算書の営業利益	699

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 参考情報

個別業績の概要

（百万円未満切捨て）

平成25年3月期第3四半期の個別業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

（1）個別経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,439	△20.7	608	△27.6	634	△26.2	380	△12.2
24年3月期第3四半期	18,217	4.0	840	67.3	858	68.6	433	46.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	33.37	—
24年3月期第3四半期	38.73	38.03

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	20,238	8,927	44.1	783.12
24年3月期	20,892	8,781	42.0	770.36

（参考）自己資本 25年3月期第3四半期 8,927百万円 24年3月期 8,781百万円